

「孤独な 16 時」

— 1 稿 —

2026/05/30
山極 瞭一朗

〈人物表〉

町屋 勇気 まちや ゆうき

(12)

小学生

北島 ナツカ きたはたけ なつか

(27)

謎の女

猿島 碧 さるじま あおい

(12)

小学生

成増 一作 なります いっさく

(56)

刑事

1. 小学校・教室（夕）

放課後。荷物をまとめて帰宅する生徒もいれば、集まって談笑している生徒もいる。

隅の席、キャラクターTシャツを着た町屋勇氣（12）は教科書類を鞆に詰めている。

談笑している生徒の集団に、リーダー格の少年、猿島碧（12）。チラッと勇氣に視線をやると、ニヤリと笑みを浮かべる。そして集団に何やらコソコソ話す。

勇氣、リュックを背負うと、帰ろうとする。

そこに集団が立ちふさがる。

勇氣は不思議そうに彼らを見つめる。

碧、ノートの切れ端に何か殴り書きする。そしてさも仲良さそうに勇氣の肩を組む。

勇氣、ビクツとして身体を硬直。

碧、メモを勇氣に握らせると、とんとんと肩を叩く。そして集団とともに、笑いながら立ち去る。

勇氣、碧たちの背をじっと見つめる。

2. 道（夕）

周囲は田園に囲まれた畦道。

人通りはない。

勇氣、ポツリとただひとり歩いている。

田んぼを隔てた向こうの道に佇む人影。

勇氣、その人影に気付き、チラッと見る。

白のワンピース着た女性、北畠ナツカ（27）であるが、麦わら帽子を被っており、顔は判然としない。勇氣、視線を逸らし歩いていく。

3. 町屋家・勇氣の部屋（昼）

ゲームのキャラクターフィギュアが散らかっている。壁にはそのゲームのポスター。格闘ゲームのようで、キャラクターたちがファイティングポーズをとっている。

勇気、テレビでそのゲームの最中。コントローラーを激しく連打し、戦っている。リユックは乱雑に置かれており、碧のメモが飛び出している。

『4時 ○○公園集合 絶対』と記されている。テレビ画面『LOSE』の文字。

勇気、しょんぼりとしてコントローラーを置く。時計を見る。

3時50分を過ぎようとしている。

勇気、碧のメモに視線を移す。ため息をつき、立ち上がる。

4. 公園(夕)

滑り台やブランコがあるだけの簡素な公園。

敷地は広い。

しかし、誰もいない。

勇気だけがぼつんと佇んでいる。

時計を見る。

4時を過ぎている。

勇気、ため息をつく。

公園の出入り口付近に、碧ら少年がいる。碧たちはひとりぼっちの勇気を見て、馬鹿にしたように笑い合う。そして勇気に気付かれないよう、そつと公園を後にする。

勇気、ポケットからメモを出し、くしゃっと握る。

そのまま帰ろうとすると、視界の端に、ベンチに佇む女性の姿を捉える。

麦わら帽子に白のワンピース——ナツカである。

風が吹き、ナツカの帽子が吹き飛ぶ。

ナツカの顔がはつきりとする。切れ長の目にハリのある頬。美形の面立ち。

勇気、ポカンと口を開けて、思わず見惚れる。

ナツカ、帽子を拾う。すると、勇気の視線に気付いたように、彼を見る。

勇氣、慌てて口を閉じる。
ナツカ、ふっと笑みをこぼす。

× × ×

ベンチに横並びで座る勇氣とナツカ。

勇氣はどこか緊張の面持ちで、ナツカを見る。

ナツカ、お調子者の女性なようで、ひとつ大きく手を叩くと立ち上がる。

勇氣、不思議そうにナツカを見る。

ナツカ、勇氣に微笑みかけると、突然駆け出す。

× × ×

ナツカ、滑り台を滑る。

呆氣に取られる勇氣。

ナツカ、こっちおいでと手で招く。

勇氣、苦笑してナツカに近づく。

ナツカに誘導されるままに滑り台に上る。滑る。

× × ×

ブランコに乗るナツカ。

勇氣は彼女を押す。どこか笑顔が滲んでいる。

× × ×

砂場。

立派な砂の城ができている。

ナツカは汚れた手を勇氣に見せる。

勇氣も汚れた手を見せ、笑う。

笑い合うナツカと勇氣。

5. 道（昼）

畦道を横並びで歩く勇氣とナツカ。談笑中。

すると、風が吹き、ナツカの帽子が後方に吹き飛ぶ。

勇氣、咄嗟に拾おうとするが……

後方からパトカーがやって来る。

勇氣、ピタリと足を止める。振り返る。

ナツカは無表情で前方を見ている。

前方からもパトカー。パトカーは停車すると、刑事たちが出てくる。ナツカを囲む。

わけがわからず呆然とする勇氣。
年増で頭の禿げあがった刑事、成増一作(56)は、
ナツカの前に立ちはだかる。

警察手帳をかぎす。

『捜査一課』とある。

ナツカ、チラッと勇氣を見る。

勇氣、首を傾げる。

成増は勇氣と同じ年齢くらいの少年が写った写真を
ナツカに見せる。

ナツカ、ふっと笑みをこぼす。

隣の刑事がナツカに逮捕状を見せる。

成増、ナツカに手錠をかける。

勇氣、思わずナツカに触れようとするが、刑事たち
に止められる。

成増、ナツカをパトカーに押し込む。

勇氣、刑事たちの制止を振り切ろうとするが……

ナツカを載せたパトカーは走り去る。

去り際、ナツカは無表情で勇氣を見る。

勇氣、脱力。

ひとりの刑事が勇氣の肩に手を置く。

勇氣、ナツカの帽子を見る。

すると、再び風が吹き、帽子が吹き飛ぶ。勇氣の手
の届かないところへ。

6. 町屋家・勇氣の部屋(夜)

勇氣、テレビに釘付け。

ニュース映像。『小学生男児の誘拐殺人事件』『容
疑者逮捕』などのテロップ。

警察署の前、多数の報道陣がパトカーから降りてく
るナツカの姿を捉えている。

勇氣の顔は引きつっている。そして、いたたまれな
くなって、乱暴にテレビを消す。

(終わり)